

修 士 論 文 の 和 文 要 旨

研究科・専攻	大学院情報システム学研究科 社会知能情報学専攻 博士前期課程		
氏 名	田中 俊行	学籍番号	0951014
論 文 題 目	教師あり学習による意見抽出を用いた評判比較システムの開発		
<p>要 旨</p> <p>インターネットの普及に伴い、Web 上には商品やサービス（対象物）に対する多くの評判情報が蓄積されている。特に、価格.com やAmazon.co.jp のようなレビューサイトでは、誰でも気軽に書き込みが行えるため、膨大な数のレビューが投稿されている。そのため、これらを利用する消費者にとっては、自らが欲する情報を手に入れるために多くのレビューに目を通さなければならず、多大な負担となる。そのような背景から、レビューから意見を自動的に抽出する研究が盛んに行われており、意見を〈対象物、評価視点（属性）、評価値〉の三つ組と捉え抽出する研究も行われている。しかしながら多くの研究は、評価視点や評価値の抽出に辞書を用いており、ジャンル毎に必要な辞書の構築のためのコストは小さいとは言えない。そして、それらの技術を基に評判情報を抽出し、可視化するシステムの開発や、サービスとしての公開が行われているが、これらのシステムやサービスは主に個々の商品の評判を可視化するものであり、商品の比較を行うにはユーザが自ら評判情報を見比べなければならない。</p> <p>そこで本研究では、教師あり学習を用いて、レビューサイトから意見を抽出する手法を提案するとともに、本手法を用いた評判比較システムを開発した。レビューサイトから意見を抽出する提案手法は、従来の手法のように大規模な辞書をあらかじめ用意する必要がないため、コストを大幅に抑えることが可能である。実験の結果、辞書をあらかじめ用意しない既存手法と比較して、最大で適合率は約26%、再現率は約47%向上しただけでなく、辞書を用いた手法と比較しても、最大で適合率は約23%、再現率は約40%向上した。さらに、異なるジャンルへ適用した結果、ほぼ変わらない精度で抽出することができた。また、手法を用いて開発した評判分析システムでは、シーソーを模したインタフェースやタグクラウドによって評判を可視化し、ユーザの対象物の比較を支援する。</p>			